

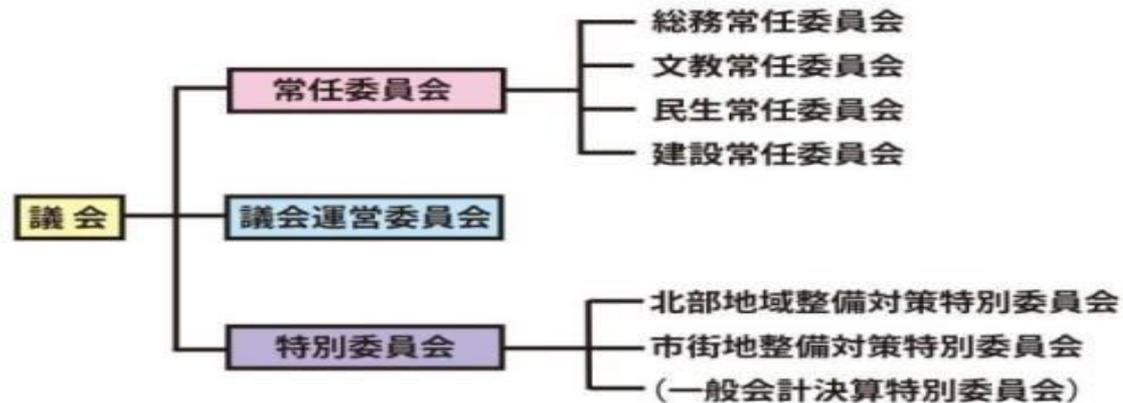
民生常任委員会報告

高齢者の見守りや認知症 に関する議員間討議

議会報告会

平成27年11月10日（火）

市議会の構成と民生常任委員会



民生常任委員会の構成

委員定数：8

所管事項：健康福祉部、こども育成部

委員氏名：委員長・下野 巖、副委員長・青木順子
大野幾子、畑中 剛、米川勝利
安孫子浩子、河本光宏 (欠員1)

所管事項に関する事務調査

1. 福祉行政について
2. 保健医療行政について
3. 子育て行政について



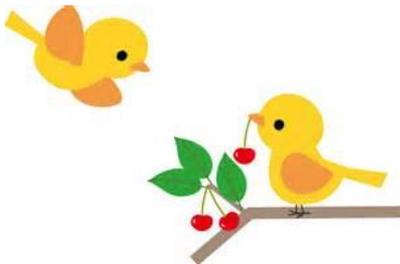
所管事務調査

佐賀県鳥栖市 5月18日（月）

子育て支援総合コーディネーターについて

佐賀県佐賀市 5月19日（火）

おたっしや見守りネットについて



議員間討議

平成27年6月22日

佐賀市「おたっしや見守りネット」事業
を中心テーマとした“高齢者施策全般に
ついて”



佐賀市「おたっしや見守りネット」事業

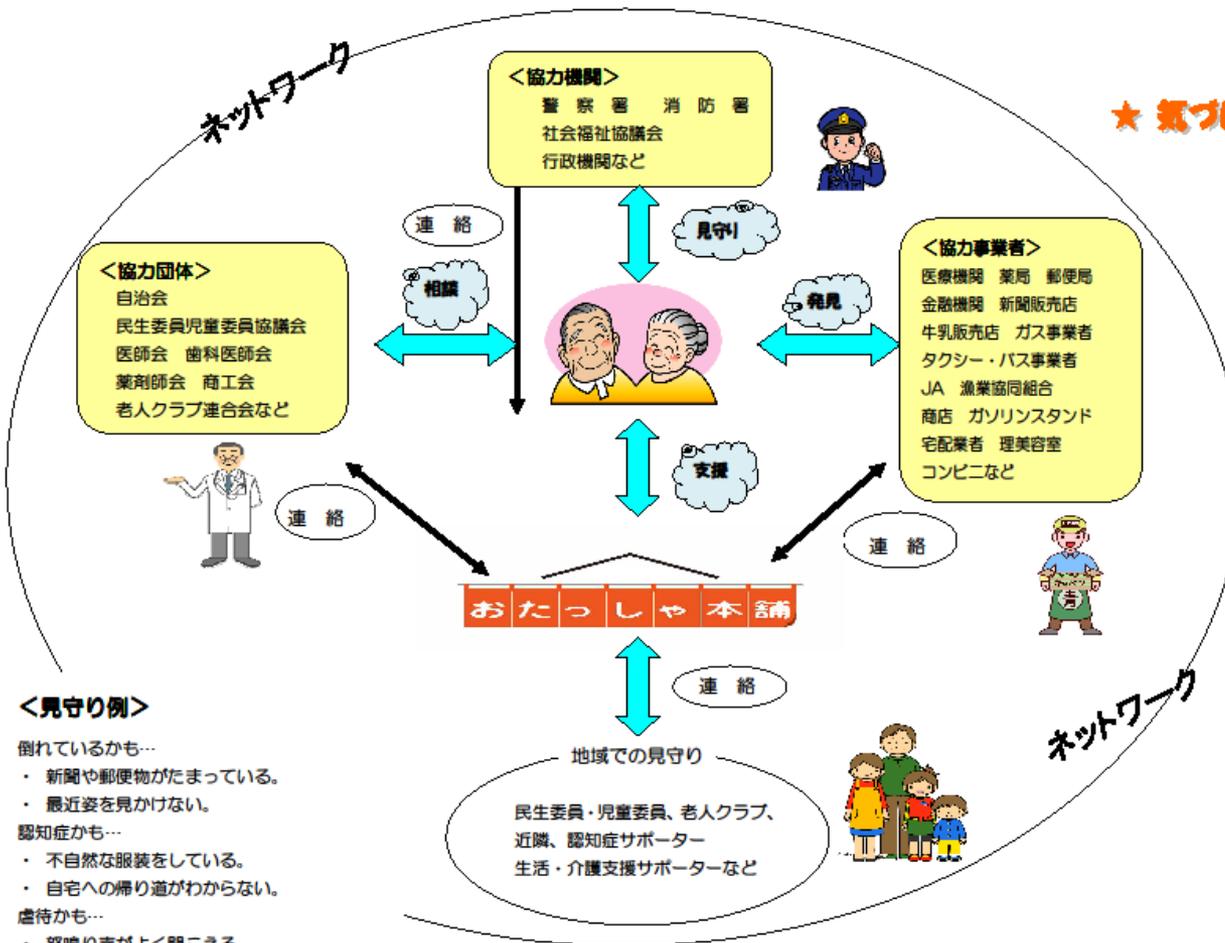
佐賀市は、安心して生活できる環境づくりのため、高齢者の孤独死などを防止しようと、民間事業者の協力を得て「おたっしや見守りネット」事業に取り組んでいる。

これは地域の人間関係が希薄になる中、官民連携の取り組みとして市が協力を呼びかけ、日常生活や事業活動の中で高齢者を見守り、異変を早期に発見し報告してもらおうという地域を挙げての事業である。そして、高齢者の見守りについて、市域全体で意識が高まることを目指すというものである。



佐賀市 おたっしゃ見守りネット

佐賀市高齢者見守り
ネットワーク事業



★ 気づいて見守る地域づくりに努めます！

見守る人・見守られる人を特定しないで、市及び事業者等が相互に連携を図り地域全体で高齢者の見守りを行い、日常生活や業務の中で高齢者の異変やその恐れがあると認められたときは担当のおたっしゃ本舗（地域包括支援センター）へ連絡していただきます。

★協力機関・協力団体の参加

ご協力いただける機関・団体は、「高齢者見守りネットワーク事業賛同書」を提出していただきます。

★協力事業所の参加

ご協力いただける事業所は、市に「高齢者見守りネットワーク事業協力事業者登録申請書」を提出し、協力事業者として登録していただきます。登録していただいた協力事業者の方には、「高齢者見守りネットワーク事業協力事業者登録証」を交付します。また、登録事業者の目印としてステッカーを貼っていただく他、事業者名を市ホームページで公表します。（公表を希望しない場合は掲載しません。）

★参加予定の協力事業者等

協力機関	高齢者支援に関わる協力機関等（警察署、消防署、社会福祉協議会、行政等）
協力団体	公共的な活動を行っている団体（自治会、民生委員児童委員協議会、医師会、歯科医師会、薬剤師会、商工会、老人クラブ連合会等）
協力事業者	高齢者の生活に関わる民間事業者等（医療機関 薬局 郵便局 金融機関 新聞販売店 牛乳販売店 ガス事業者 タクシー・バス事業者 JA 漁業協同組合 商店 ガソリンスタンド 宅配業者 理美容室 コンビニなど）

<見守り例>

- 倒れているかも…
- ・ 新聞や郵便物がたまっている。
 - ・ 最近姿を見かけない。
- 認知症かも…
- ・ 不自然な服装をしている。
 - ・ 自宅への帰り道がわからない。
- 虐待かも…
- ・ 怒鳴り声がよく聞こえる。
 - ・ 転んだりしていないのに傷やあざが多い。
- 悪質商法かも…
- ・ 普段見かけない人がよく出入りしている
 - ・ 健康食品や医療器具が必要以上にある。

みんなが参加、みんなが助け、みんなの安心、笑顔が溢く佐賀のまち

○ 問い合わせ 高齢福祉課 地域包括支援係 ☎ 40-7284 FAX 40-7393

佐賀市「おたっしや見守りネット」 事業についての主な意見（1）

- 予算を掛けずに沢山の見守りの目があることは、よい取り組みである。
- 高齢者の方がよく行かれるところが、協力事業者として登録して頂ければ素晴らしい。
- 事業者の業務の負担にならない範囲で、何か情報があった時につないでいくのはいい見守りのシステムである。
- 「おたっしや見守りネット」というネーミングが、わかりやすくて親しみやすい

佐賀市「おたっしや見守りネット」 事業についての主な意見（2）

- 警察、消防署、社会福祉協議会、行政機関等と連携され、1つになっている。みんなが情報を共有しやすい。
- 見守りを念頭に置いて、倒れているかも、認知症かも、虐待かもという観点で、話を進めると、いいもの、いい形ができるのではないか。
- 見守りに協力していただいている事業所をPRし、伝えることもできる。

佐賀市「おたっしや見守りネット」 事業についての主な意見（3）

- いろいろな事業者が入るのは大きな強味であり、茨木市も検討していただけたらいい。
- 見守りの必要性、重要性、意義を文書にしている自治体があり、佐賀市でも、見守り例を具体的に書いてある。市民の皆さんにわかってもらえるように、見守りに関する内容を整理してまとめておく必要があると考える。

相談先や相談窓口についての 主な意見 (1)

- 専門的な相談、チーム的なものを1つ構築していったらいいと思う。
- 連絡する窓口を一本化するのがいい。
- 佐賀市の包括支援センターの活用を参考に、茨木市でも包括支援センターを核に相談する共通の理解ができるとよい。
- 新たなものをつくるというのではなくて、今ある中で、いろいろな業者さんも一緒に協力してもらえよう、もう少し呼びかけてもらえたらいい。



相談先や相談窓口についての 主な意見 (2)

- 市の広報誌などを使いながら、こういうときにはここへ連絡してくださいという、広報的なものも必要ではないか。
- 新聞、郵便配達、宅配業者を担当者が訪問しながら、もし何かお気づきのことがあれば、この専用のところにご連絡くださいということ、佐賀市を見習って、登録の前段階としてできるのではないか。



相談先や相談窓口についての 主な意見 (3)

- 市として、情報をいろいろな形で提供はしているが、なかなか皆さんに認識していただけていないと思う。広報の仕方や媒体についての考え方を市に聞きたい。
- 理解というのは知ることから始まるので、知ってもらう機会をどうつくっていくかということが一番大事と思っている。



広報の方法についての主な意見

- 高齢者に関しては、いろいろなパンフレットやチラシがたくさんつくられ、窓口等に置いてあるが、それがどれだけ皆さんのところに届いているかという課題がある。
- 冊子をつくるというよりは、知ってもらう機会をどうつくっていくかということに苦心していくことが大事ではないかと感じる。
- 「佐賀市おたっしや見守りネット」のように、会社や事業所等の中で見守りの教育をしてもらうだけでも、広報の効果はあると思う。

認知症についての主な意見

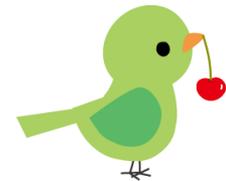
- 認知症徘徊の予防、介護予防、健康寿命の延伸などに重点を置いて健康づくりを進めて行く必要がある。
- 特定健診と保健指導を早期に実施して、どんな体の人が、どんな状態の人が、どんな病気を患って悪化しているのかという分析も進めていくべきである。
- 認知症対策は喫緊の課題であり、たくさんの人に知っていただいで協力していただけるよう、佐賀市の取り組みやすさは参考になる。

茨木市の取り組みの現状に関して

- 見守り等について、茨木市の現状を聞く機会をつくっていただけたら、ありがたい。
- 茨木市内などで、見守り事業を行っている会社で、情報をどこにつなぐか等を社内ではどのように進められているのか知りたい。また、市の配食サービス事業で得られた情報はどこにつながれているのか。
- 茨木市の認知症の認知症初期集中支援チームを設置するということであるが、本人が認知症であるということを認めない場合、放置されないよう、そのチームがどんなふうにかかわるか、本人や家族の接触等、現状を知りたい。

意見の合意

- 現状の市の高齢者見守りについて、担当課を交えて確認したい。
- 情報の伝達方法、各症状によっての連絡基準の考え方についても、市の現状を確認したい。
- 情報を受ける窓口を1つにまとめることができないか。
- 情報を提供していただく方に負担をかけないような情報提供の依頼の形式と、現状の制度をうまく利用できないか。
- 情報提供のあり方を工夫できないか。

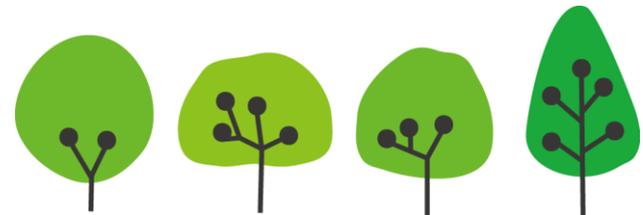


所管との勉強会 主な内容

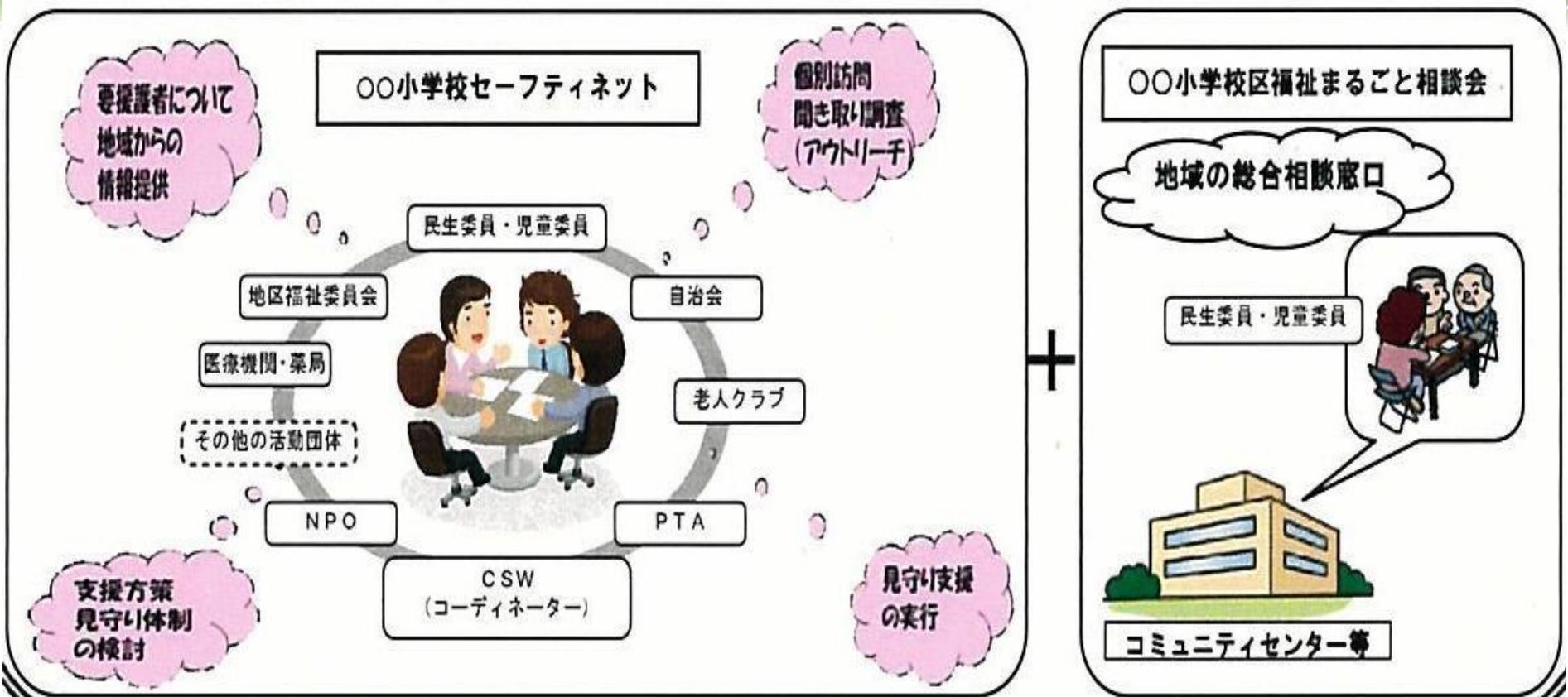
平成27年7月14日

担当課：福祉政策課、高齢者支援課

- 地域福祉ネットワーク、CSWの配置
- 福祉まるごと相談会
- プラットホーム事業
- 地域見守りの地域包括支援センター
- 認知症の取り組み
- はつらつパスポート
- 総合保健福祉計画



「地域福祉ネットワーク」＝「健康福祉セーフティネット」＋「福祉まるごと相談会」



所管との勉強会 主な現状（1）

平成27年7月14日

□ 高齢者の見守りの現状

健康福祉セーフティネットワーク（いきいきネット）、福祉まるごと相談会、民生児童委員による見守り、地域ケア会議などがある

□ 情報の伝達方法、健康福祉セーフティネットワークの参加事業者について

地域の店舗などで把握している高齢者の情報を直接いきいきネットにつなぐようなどころまで連携は進んでいない。今後CSW協議会の話題にしていく。事業者との連携については、大阪府も連携を進めているので、それが確立されれば進めやすい



所管との勉強会 主な現状（2）

平成27年7月14日

- 見守りとは何かを規定したものはあるのか？
見守りの定義を明文化したものはまだない
- 認知症初期集中支援チーム、認知症見守りネットワーク
4月から準備を始め、10月にスタートの予定



所管との勉強会 主な確認点

平成27年7月14日

- 見守りのポイントは明確になっていない
- 大阪府より、「自治体における民間事業者との高齢者施策推進のための協定締結について」の調査があり、大阪府も連携を推進している
- 認知症初期集中支援チームは10月に設置



さらなる意見の合意

平成27年9月9日

- 見守りと情報提供について、幅広い民間事業者との連携を強化すること
- 市民全体の取り組みとして広がることを目指して、見守りのポイントを明確にし、連絡先も含め市民に分かり易く伝えること
- 地域包括支援センターの親しみやすい愛称化を図ること



民生常任委員会から政策提言

- 議員間討議による最終的な合意を「政策提言」としてまとめる
- 委員長から議長に提出（平成27年9月28日）

